無痛分娩説明書

出産に伴う子宮の収縮（陣痛）や産道の広がりによる痛みは、背中の脊髄という神経を通って脳に伝えられます。無痛分娩は、脊髄の近くに麻酔薬を少量ずつ投与することによって出産の痛みを和らげる方法です。当院では、硬膜外麻酔による無痛分娩を実施しています。鎮痛効果が高く、児への影響も少ない方法と言われています。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様　は以下の理由により無痛分娩を行います。

□ 医学的理由

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□ 患者様の希望

１）　無痛分娩実施の流れ

① 週数などから入院日を事前に決定します。

② 入院日の午後に、子宮の入り口を広げるための頸管拡張術を行います。

③ 入院翌日の午前中に硬膜外カテーテルを挿入します。その後、陣痛促進剤の点滴を開始し、疼痛が強くなった時点で硬膜外麻酔を開始します。

2）　無痛分娩の方法

硬膜外麻酔を行うために、まず背中から硬膜外腔というスペースに細いチューブ（硬膜外カテーテル）を挿入します。

分娩台の上で横になり、背中を丸めた姿勢になります。背中を消毒し、痛み止めを注射してから、硬膜外針という特殊な針で硬膜外腔を穿刺し、硬膜外カテーテルを挿入します。硬膜外カテーテルは分娩が終了し、鎮痛薬が不要となるまで挿入したままにします。通常、処置は数分で終了しますが、体のむくみや背骨の状態によっては時間がかかります。

疼痛が強くなってきたら、ご本人と相談しながら硬膜外チューブを用いて麻酔薬の投与を開始します。麻酔薬を投与すると 10－30 分程度で痛みが和らいできます。

3）　無痛分娩のメリット

無痛分娩を行うことで、痛みのせいで取り乱すことなく落ち着いて分娩を迎えることができます。また、分娩中の体力を温存することが可能です。

4）　無痛分娩のリスク

① 分娩遷延

麻酔薬は痛みを感じる神経だけでなく、運動神経も麻痺させます。このため、分娩時間が延長したり、吸引分娩が必要となる可能性が増えると言われています。

② 血圧低下・徐脈・吐き気・嘔吐

麻酔の影響により、血圧が下がったり、脈拍が低下することがあります。血圧や脈拍が極端に低下した場合には、吐き気を感じたり嘔吐することがあります。

③ 頭痛

麻酔の影響で分娩後に頭痛を起こすことが１％程度あります。

④ 発熱

麻酔の影響で 38 度以上の発熱を起こすことが 10%程度あります。

⑤ 局所麻酔中毒

主に硬膜外チューブが血管内に迷入することで、血液中の麻酔濃度が上昇すると、舌のしびれ、血圧上昇、過呼吸、痙攣などの症状を起こします。さらにひどくなると意識低下や呼吸停止を引き起こすことがあります。

⑥ 硬膜穿破

硬膜外腔を穿刺する際、さらに深いくも膜下腔にまで到達すると広範囲な麻酔効果が現れ、呼吸抑制や心停止を引き起こすことがあります（全脊椎麻酔)。

⑦ 麻酔薬によるアレルギー

硬膜外麻酔に使用する薬剤により出現することがあります。

⑧ その他

穿刺部位の感染（硬膜外膿瘍)、出血（硬膜外血腫)、神経障害、硬膜外チューブ遺残など

5）　無痛分娩の注意点・制限事項

① 麻酔の効果について

無痛分娩は人により効果が異なる場合があります。完全無痛を保証するわけではありません。患者様が効果がなかったと感じられた場合でも返金には一切応じられません。

② 無痛分娩ができない

当院は計画無痛分娩を実施しています。入院予定日の前に陣痛が来たり、破水などが起こった場合、無痛分娩は提供できません。この際、無痛分娩料は発生しません。

分娩の進行が予想以上に早い場合、無痛分娩を開始しても効果を実感される前に出産になってしまうことがあります。分娩の進行状況によっては麻酔薬の投与の希望をお聞きする場合があります。麻酔薬を使用しなかった場合、チューブの挿入料のみ発生します。麻酔薬を使用した場合には、無痛分娩開始から出産までの時間に関わらず全額をお支払い頂きます。

③ 硬膜外チューブが挿入できない、途中で抜ける

体のむくみや背骨の状態によっては硬膜外チューブを挿入できない場合があります。この場合、料金は発生しません。

また分娩まで長時間を要した場合には途中でチューブがずれる場合があります。その際、時間帯によっては再挿入できない場合があります。

④ 飲食

無痛分娩中は原則として飲食を禁止し、点滴を行います。

⑤ 歩行

麻酔による転倒の危険性があるため、原則としてベッド上安静とします。

⑥ 排尿

無痛分娩中はベッド上安静のためトイレには行けません。また麻酔の影響により排尿困難となる場合があり、必要に応じてスタッフが尿道に細い管を入れて導尿します。

６）　無痛分娩の費用

無痛分娩の料金は、通常の分娩費用に加えて 10 万円となります。なんらかの理由で硬膜外チューブを挿入し、硬膜外麻酔薬を用いなかった場合は、チューブ留置の料金として通常の分娩費用に加えて 3 万円となります。

医師・助産師・スタッフは十分に注意を払い、安全な分娩に努めますが、妊娠中・分娩中・分娩後には予測できない危険性や合併症が突然発生することがあります。不明な点は、主治医にご相談ください。

無痛分娩同意書

患者氏名：　様

Ⅰ　私は本日、患者　様に対して、以上の内容を説明しました。
なお、無痛分娩前に予測できない状況が分娩中や分娩後に発生した場合には、その都度必要な治療の追加あるいは変更を行うことがあります。
　ご不明な点がございましたら、お気軽に担当医にお尋ねください。

説明日

独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)大阪病院　科

医師氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

看護師氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印
□同席　□同席できず、その後確認した

Ⅱ　私は以上の内容の説明を受け、内容を理解したうえで無痛分娩を受けることに同意しました。

同意日　　年　　月　　日

患 者 氏 名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

代諾者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印
続柄(　　)

同席者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印
続柄(　　)

※患者署名ができない場合や未成年の場合は、代諾者が患者氏名と代諾者氏名を記入すること

同 意 撤 回 書

患者氏名：　様

地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院長　殿

私は、「無痛分娩」に関して、その同意を撤回します。

撤回日　　年　　月　　日

患 者 氏 名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

同席者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

続柄（　　）

受領日

独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)大阪病院　科

医師氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

看護師氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

□同席　□同席できず、その後確認した